

教育研究業績書

2024年10月22日

所属：看護学科

資格：助教（臨床）

氏名：山中 晶子

研究分野	研究内容のキーワード
老年看護学	透析看護, 高齢透析患者, ACP, 看護倫理
学位	最終学歴
修士（看護学）	武庫川女子大学大学院看護学研究科修士課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 老年看護学実習Ⅱ 疾患を患う高齢患者の紙面事例患者を用いた遠隔実習指導	2023年1月10日2023年1月20日	老年看護学実習Ⅱにおいて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、病院実習が中止となったことから、事例患者（パーキンソン）への看護過程の展開をGoogle Classroomおよび Meetを用いて学内対面と遠隔で行った。教員が患者役を行い学生による退院指導が実践できた。
2. 老年看護学実習Ⅰ 地域で生活する高齢者と地域で高齢者を支える人々と制度の理解	2022年10月27日2022年11月4日	老年看護学実習Ⅰにおいて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設実習が中止となったことから、Google Classroomおよび Meetを用いて学内対面と遠隔で行った。認知症患者の理解、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の違い、介護老人福祉施設の多職種・看護師の役割と多職種連携、介護老人福祉施設を利用する高齢者の健康課題、高齢者のレクリエーションの意義について学習し、実際にレクリエーションの企画・実施・評価を行った。
3. 老年看護学実習Ⅱ	2022年5月1日～現在	老年看護学実習Ⅱ（専門教育科目、3年次後期～4年次前期配当）において、入院を必要とする高齢者の健康問題を理解し、看護過程展開ができるよう指導を行っている。実習前に個別面談の実施により実習目標とレディネスを確認する。主体的な学習が進められるよう実習中に必要だと思われる資料は事前準備する。実習1週目は、現疾患だけでなく既往歴、一次老化、二次老化が身体におよぼす影響、入院と治療がおよぼす影響について考え全人的に理解し看護上の問題点を抽出できるように学生のペースに合わせて指導をしている。看護計画立案時には、現在の患者の状況と患者の意思を踏まえて目標設定することや、計画実施の際も患者の状況によっては代替案も提案できるプランを考えることにより、個別性のある看護を体現できるように工夫している。また、病棟の看護計画と大幅なズレが生じないように、臨地実習指導者と協働し指導に当たっている。看護計画実施と評価では、援助を通して患者の言動や看護の効果についてリフレクションを行い、計画評価・修正に反映できるように指導している。さらに、グループメンバーで疾患や状況の異なる看護を共に考えることで、個別性、多様性への理解を深めることができるよう指導している。
4. 新人看護師と臨床看護師の卒後教育	2010年9月1日～2018年8月30日	認定看護師として病棟看護師を対象に、高齢患者の困難事例への対処についての教育を行った。具体的には病棟に赴いてカルテを見ながら、困難事例や看護問題を紐解き全人的理解を促し、対象特性を捉えた看護支援についての教育を行う。
2 作成した教科書、教材		
1. 老年看護学演習Ⅱ 学内演習資料	2023年4月1日～現在	「老年看護学Ⅱ」（専門教育科目：3年次前期配当）学内演習において、高齢者とのコミュニケーションや高齢者体験を通して、3年次後期からの実習へ繋ぐことができるよう、事前学習・体験後のレポートを含む演習資料を作成。
2. 新体系看護学全書 腎・泌尿器 成人看護学看護学7	2022年11月30日	疾患を持った患者の身体で進行している生理学・病理的過程はどのようなもので、患者の生命と生活のどの

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
3. 老年看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅱのオリエンテーション資料	2022年4月1日～現在	ような影響を与えるかが理解でき、個別的な看護が考えられる基礎教材として、臨床傾向を合わせた内容を記載した教材である。 「老年看護学実習Ⅰ・老年看護学実習Ⅱ」（専門教育科目：3年次後期～4年次前期配当）の実習オリエンテーションにおいて、学生が円滑な実習が行えるように各実習施設での留意点・感染予防対策等を記載した資料を作成。
4. 看護倫理カンファレンスの基準・手順と事例集	2018年4月1日～2018年8月迄	患者の権利を擁護できるよう、看護の役割を具体的に示し、倫理カンファレンス開催手順・事例集を作成し、看護実践ができるよう看護教育教材を作成。
5. 新人看護師教育カリキュラム	2010年4月1日～2018年8月迄	新人看護師教育カリキュラムと年間講義資料12回分（看護倫理、医療安全、看護技術、看護過程など）を作成し新人看護師の教材とした。
6. 慢性腎臓病保存期外来看護 - 医療連携手順・基準	2006年9月1日～2018年8月迄	看護外来の開設とCKD看護の治療パスを作成。その後、地域でCKD患者の早期発見と医療連携を目的に地域医療連携パスを作成し、クリニックと基幹病院の各職種の役割、患者への指導内容を明確にした。定期的な学習会の開催で、CKD保存期看護の役割と支援内容を地域の開業医・看護師に啓蒙し、看護師向けの教材を作成する。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 看護大学看護学部 非常勤講師	2019年9月1日2022年3月30日	非常勤講師として、成人看護学Ⅲの科目の中の担当した授業の中で、アクティブラーニング(ミニッツテストや学生同士複数人で意見を出し合い考えをまとめる学習方法)を実践した。
2. 透析看護認定看護師	2006年7月1日2018年10月31日	認定看護師として、スタッフ看護師に対して看護研究教育を行い、毎年1人、研究計画・研究実施・日本透析医学会と腎不全看護学会での学会発表を指導する。
4 その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 日本看護協会透析看護認定看護師	2006年7月1日	
2. 看護師免許	1996年	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 看護師国家試験対策委員	2022年4月1日2024年3月31日	3年生約10名の学生を7月から担当し定期的な面談を実施した。個人面談では国家試験の勉強を行う上での悩みや学習状況を確認し、実習前には実習と国試の繋がりが理解できるよう説明し、模擬試験結果の見方、模擬試験問題の解き直しの必要性を説明し、実習中の学習計画を共に考えた。2月には模試結果と実習経過を踏まえて今後の学習計画と目標立案のサポート支援をおこなった。 4年生へは、4月より東京アカデミー主催の模擬試験担当、集中講座の会場設営・講師対応・学生の出欠席確認、国家試験出願書類作成支援、模擬試験結果を保護者宛に郵送するための封入作業、国家試験応援絵馬ポード作成・掲示、国家試験受験用応援グッズの準備・配布、国家試験自己採点会の準備、合格発表の準備等を行っている。その他、成人看護学・老年看護学に関連した国家試験過去問題・予想問題に関する質問・相談に対応を行った。
4 その他		
研究業績等に関する事項		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 総論:透析患者にとってのキュアとケア	共	2021年2月	透析ケア27号2巻、メディカ出版	透析患者がその人らしく生きることを支えるキュアとケアについての総論についてまとめた
2. 腎不全患者に対するACPの考え方と実践事例	単	2020年4月	呼吸循環脳実践ケア. 日総研出版. 41号3巻	腎不全患者のACPの考え方と各期(保存・導入・維持・終末)の看護支援について事例を用いて解説
3. 透析患者のよくある症状とケア	共	2016年6月	透析ケア2016夏樹増刊	透析室で気を付けたい症状「終始うつらうつらしている」「歩きづらそうにしている」「会話の調子がおかしい」の3症状に対して、病因、看護、予防の視点から解説
2 学位論文				
1. 高齢維持血液透析患者に関わる看護師の倫理的問題と対処の実態	単	2021年3月	武庫川女子大学	高齢維持血液透析患者に関わる看護師186名の倫理的問題と対処の実態を明らかにした。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 対象理解を深めるための看護理論を用いた臨床看護指導	単	2012年5月	第57回 日本透析医学学会・総会 ワークショップ 認定看護師の医療現場と将来	認定活動の振り返りと組織評価を踏まえた今後の展望について報告した。
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
1. 高齢維持血液透析患者に関わる看護師の倫理的問題と対処の実態	単			
学会及び社会における活動等				
年月日		事項		
1. 2022年		第53回（2022年度）日本看護学会 抄録査読委員		
2. 2021年		第52回（2021年度）日本看護学会 抄録査読委員		